

Annual Report 2024▶25

特定非営利活動法人NPOぐんま 活動報告

2 自治体の「デジ田総合戦略」策定を支援

群馬県 富岡市、東吾妻町の新しい総合戦略

人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、地方創生を推進するために、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、国をはじめ、全国の自治体で策定が進められた総合戦略。2023年にはデジタルの力を活用して地方創生を加速させる「デジタル田園都市国家構想総合戦略」（デジ田総合戦略）として閣議決定され、これを勘案した各自治体での第3期目となる策定が進められています。

NPOぐんまでは、群馬県富岡市（人口約4.5万人）、東吾妻町（同1.2万人）の両自治体の策定を支援しました。いずれの自治体でも、まちづくりの最上位計画である「総合計画」の策定支援に関わった経験を活かし、総合計画との一体化を見据えた支

援を行いました。有効性や実現可能性などの視点で、より絞り込んだ内容の総合戦略となりました。

地域資源を活かす特徴的な取組が始動

富岡市では、世界遺産富岡製糸場や妙義山などの固有資源を活用した観光交流人口や関係人口の創出、東吾妻町では、NHK大河ドラマにもなった真田氏ゆかりの“忍者”や、ハツ場ダム建設に伴い付け替えとなったJR吾妻線旧線路の活用など、それぞれ新しい総合戦略に基づく特徴的な取組が始動しています。

▶左：富岡市、右：東吾妻町の各デジタル田園都市構想総合戦略表紙



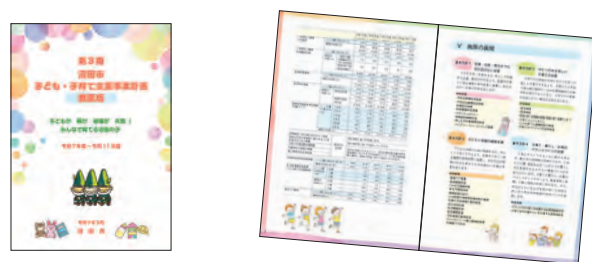
沼田市「子ども・子育て支援事業計画」策定を支援

地域の子育て環境の確保と充実に向けて

2023年度に「こども家庭庁」が創設されるなど、国をあげて“次元の異なる少子化対策”が進められる中、「子ども・子育て支援法」に基づき、子育て支援に関わる第3期目となる事業計画が全国の自治体で策定されました。

NPOぐんまでは、群馬県沼田市（人口約4.3万人）の策定を支援しました。沼田市では近年の出生数が300人を下回り、少子化が進む中での地域の子育て環境の確保と充実、子育て世帯の暮らし方

等の多様化への対応や、地域資源の効率的な活用が課題となっており、保護者のニーズを踏まえた地域独自の方向性が示された計画となりました。



▲計画書（概要版）8ページ構成

安中市「移住・定住アクションプラン」策定を支援

より暮らしやすく・暮らす楽しみにあふれるまち

群馬県安中市（人口約 5.2 万人）では、移住・定住支援を総合計画における重点プロジェクトに位置づけており、その実践的な施策推進に向けたアクションプランが策定されました。

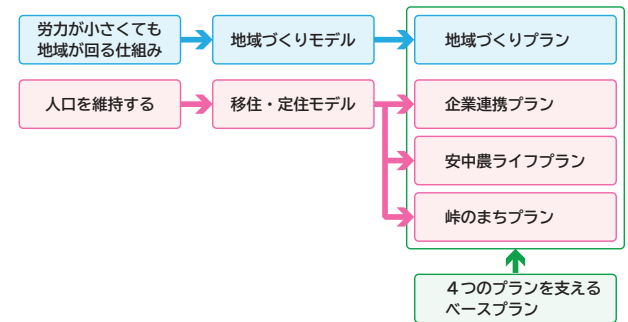
NPO ぐんまでは、その策定を支援しました。プランには、「人口減少やその影響が懸念される中であっても、地域の力を活かし、より暮らしやすく・暮らす楽しみにあふれるまちづくりに、まちぐるみで取り組む」ための 3 年間のスケジュールが示されています。

4つの提案をプラン化し、アクションへつなげる

プランは、市民を中心とした策定委員会によるワークショップで提案された 4 つのプラン（地域づくり・企業

連携・安中農ライフ・峠のまち）と、それらを支えるベースプランで構成され、プランごとの具体的内容が示されており、これに基づくアクションが始動しています。

NPO ぐんまは、プランの具現化に向けた取組を引き続き支援していきます。



▲ 4 つのプランとそれを支えるベースプランのイメージ (アクションプランより)



▲ アクションプラン表紙



▲ アドバイザーとしてワークショップをまとめる熊倉代表理事（中央奥）



▲ 「ぐんま三大梅林」のひとつに数えらる秋間梅林（安中農ライフプラン）



▲ 中山道碓氷峠の宿場町として栄えた松井田町の坂本宿（峠のまちプラン）

2 自治体の男女共同参画市民アンケート調査を支援

群馬県 沼田市、渋川市の市民アンケート調査

女性活躍や人権尊重、SDGs などのキーワードでも重要性や関心が高まっており、男女共同参画社会の実現に向けた取組のより効果的な推進が必要となっています。そのための計画策定に向けた市民アンケート調査が群馬県沼田市（人口約 4.3 万人）、渋川市（人口約 7.2 万人）で実施されました。

NPO ぐんまでは、その調査設計から分析までを支援しました。

市民の声を次期計画に

沼田市は、2022 年度に「人権教育・啓発に関する基本計画」の策定を支援しており、女性の人権は、国の人権擁護機関が掲げる 17 の「啓発活動強調事

項」の 1 つにも位置づけられることから、この人権課題をさらに深く掘り下げた内容を含む調査となりました。渋川市は、市民 2,000 人に加え、市内の企業や事業所約 70 社を対象としたアンケートをあわせて実施しました。いずれの自治体でも、この結果を次期の男女共同参画計画の策定に反映することとしています。



▲ 2022 年度に策定を支援した第 2 次渋川市総合計画



▲ 2022 年度に策定を支援した沼田市人権教育・啓発に関する基本計画

2 自治体の市民アンケート調査を支援

群馬県富岡市、新潟県南魚沼市の市民アンケート調査

総合計画の進行管理（PDCA サイクル）の一環として、定期的に取り組んでいる施策や事業に対する市民の評価を市民アンケート調査を通して把握しています。

NPO ぐんまでは、前回調査に引き続き、群馬県富岡市と新潟県南魚沼市（人口約 5.2 万人）で、調査設計から分析までを支援しました（調査対象：富岡市 2,000 人、南魚沼市 2,800 人）。

NPO ぐんまは、南魚沼市では、次期計画の策定、富岡市では行政評価において、引き続き支援していきます。



▲ 2022 年度に策定を支援した富岡市の総合計画



▲ 2020 年度に策定を支援した南魚沼市の総合計画

妙義ビジターセンターの展示物を拡充

より充実した内容へ

2023 年にリニューアルオープンした富岡市妙義ビジターセンターとして（旧妙義ふるさと美術館）。次のステップとして、1 階妙義ミュージアムを中心とした展示物の拡充が進められました。

NPO ぐんまでは、このプロジェクトに 2017 年の委員会発足から関わっており、引き続き展示物作成や資料収集等を支援しました。

化石などの地学的展示物

かつて周辺が海だったことを示すカキなどの貝類や富岡製糸場の燃料としても使われた亜炭の化石標本などを採取し、説明パネルとともに展示しました。

また、上信越自動車道井田妙義 IC ～碓氷軽井沢 IC 間にある「北野牧トンネル」直上で高さ約 70 m の掘削作業が進む現場での調査を行い、妙義山と

の地学的つながりについて展示するとともに、専門家による分析を進めています。

妙義山ゆかりの人物や「ヤマビル」の紹介

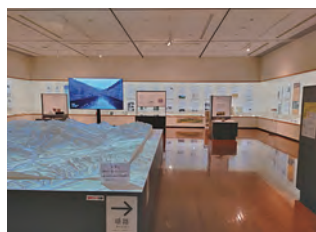
群馬県太田市出身で日本山岳会第 3 代会長である木暮理太郎の紹介、河童橋（上高地）で撮影された W. ウェストンと妙義地域出身の登山案内人根本清蔵の AI 技術によるカラー化の試み、妙義山に多く生息するヤマビルの生態の解説などを紹介するパネルを展示しました。

来場者アンケート、サイト作成、「妙義の日」制定

昨年度から継続した来場者アンケート調査実施支とその返礼品（缶バッジ）や新たなウェブサイトの作成、「妙義山の日」（表妙義の最高峰である白雲山相馬岳の標高 1,104 m にちなんだ 11 月 4 日）の制定などを支援しました。



▲ 妙義ビジターセンター外観



▲ 妙義ミュージアム（1 階）



▲ 北野牧トンネルの岩山掘削現場



▲ カキの化石や亜炭の展示



▲ モノクロ写真のカラー化（右）



▲ ヤマビルの展示（2 階）



▲ 作成した限定缶バッジ（全 10 種）

妙義ビジターセンターの詳細はこちら



ぐんまビジタートイレ調査件数を拡充

世界遺産の高山社跡、イケア前橋の2箇所を新規認証

22年目となるぐんまビジタートイレ認証制度の2024年度は、2年毎の更新の際の現地調査の件数をこれまでの約1.5倍に増やして強化が図られました。また、世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成資産である「**高山社跡**」の来場者用駐車場、2024年1月に北関東初の出店となった「**イケア前橋**」（前橋市：同右）の館内トイレの2か所が、ぐんまビジタートイレとして新たに認証されました。



▲高山社跡の来場者用
駐車場トイレ（藤岡市）



▲イケア前橋トイレ（前橋市）

エコアクション21 事務局の運営

地域事業者の環境経営をバックアップ

環境省制定の環境マネジメントシステム「エコアクション21」は、取り組みやすく、成果の評価がしやすいシステムとして年々評価が高まっています。このシステムの発足以来、NPOぐんまは、地域事務局群馬として、環境経営に取り組む地域の事業者様や審査員の方々を支えています。また、2020年度の制度改定に伴い、地域判定も行う**中核事務局**としての役割を担っています。

2024年度は240事業者を審査・判定

2024年度は、240事業者（地域事務局群馬所管146件、群馬県中小企業団体中央会所管94件）の審査・判定を進めました。

2025年度は、事務局体制の強化を図り、これからも地域の事業者様の環境経営推進を支援していきます。



会員を募集しています

会員の皆様からご協力いただく「会費」は、NPOぐんまが公益活動を推進するためのたいへん重要な財源です。設立趣旨や活動内容に賛同いただき、会員としての活動を支援してくださる方を随時募集しています。

ご入会ご希望の方や興味のある方は、事務局までお気軽にご連絡ください。

会員種別	入会金	年会費 (1口)
正会員 (主に個人)	なし	10,000円
賛助会員 (主に企業・団体)	20,000円	100,000円